

第1回泉布観旧桜宮公会堂泉布観地区保存活用計画及び耐震診断検討会議 議事録

1. 開催日時： 令和7年11月6日（木）13:30～17:00

2. 開催場所： 泉布観・旧桜宮公会堂、TKP ガーデンシティ大阪OAPタワー会議室

3. 出席者

メンバー：谷座長、弘本委員、恵谷委員、腰原委員、西川委員、橋寺委員、船越委員

大阪府教育庁文化財保護課：神谷総括主査、萩原副主査、大澤副主査

教育委員会事務局文化財保護課：鈴木課長、櫻井主任

経済戦略局文化課：一與課長、弓削課長代理、中村係長、山本係長、笛倉係員

（公財）文化財建造物保存技術協会：丸石、木下、鈴木（律）、國本、岡野

4. スケジュール

泉布観・旧桜宮公会堂・泉布観史跡地区内の視察、その後会議

5. 議題

（1）座長、副座長の選出

（2）保存活用計画について

（3）耐震診断について

（4）今後のスケジュールについて

6. 議事要旨

【(1) 座長、副座長の選出】

事務局提案により、座長に谷委員を選出し、谷座長から副座長として弘本委員を指名した。

【(2) 保存活用計画について】

・事務局より保存活用計画について、計画の概要と文化財の概要について説明した。

（主な意見）

・史跡の本質的価値の整理・価値評価の視点の追加・史跡指定地としての泉布観地区の変遷についてさらに検討を要する。

・1995年の阪神・淡路大震災の後に建物に歪みが生じたりして、雨が入るなどの悪影響があったが、この30数年でかなり劣化が進んでいるという印象である。

・まちづくりという観点では、もっと幅広いところが関わってくる話になると思うので、そこをもう少し整理すると良いと思う。

・特に、舟運の活性化、水辺空間の賑わい、自転車による回遊といった観点があり、川側からの景観や川との関係性をもう一度考え方直していくこともあり得る。

【(3) 耐震診断について】

- ・耐震について、同じ設計者による施設が、技術的に似た構法か、設計思想が共通しているか、さらに可能であればその建物がある都市と連携して、どういう特徴があるのか整理されると良い。
- ・構造躯体も前の調査に比べて劣化が進んでいる部位があると思うので、現状の劣化状況、構造体の構成がどうなっているかを、把握されたい。
- ・阪神・淡路大震災で起きた被害により、雨漏りが生じて小屋梁が腐っていないかなど、気になったので、状況を確認していただきたい。

【まとめ】

- ・史跡の内にある重要文化財、そして未指定であっても史跡の重要な構成要素であるものが、全体を見渡した形で、近現代を踏まえた考え方を示してほしい。
- ・特に阪神・淡路大震災以降のこと、周りの環境の変化も踏まえ、まちづくりとしてこれを大阪の文化の中に定着させていくという点では、少し弱いと思う。

【(4) 今後のスケジュールについて】

次回は2月か3月ぐらいにできるようにしたい。

次回はオンラインも含めて、また日程調整させていただく。

7. 閉会